SOFTFRONT

2026年11月11日

各　位

会 社 名　株式会社ソフトフロントホールディングス
代表者名　代表取締役社長　時　慧
（コード番号：２３２１　東証グロース）
問合せ先　取締役　財務・管理統括担当　程崎　絵李加
電　話　03-6550-9270

営業外費用及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、2027年３月期第２四半期連結累計期間（2026年４月１日～2026年９月30日）において、下記のとおり営業外費用及び特別利益を計上することとなりましたので、お知らせいたします。

記

１．営業外費用の内容

当社は、子会社であった株式会社グッドスタイルカンパニー株式の譲渡に関連する金銭債権に係る第２四半期決算期末の評価により、貸倒引当金繰入額5,490千円を営業外費用として計上いたしました。

なお、2026年７月１日～2026年９月30日において、貸倒引当金戻入額1,830千円を営業外収益として計上致しました。

また、AIデータセンター事業において、海外取引に係る第２四半期決算期末為替レートの評価により、為替差損4,958千円を営業外費用として計上いたしました。

なお、2026年７月１日～2026年９月30日において、為替差損6,437千円を営業外費用として計上いたしました。

２．特別利益の内容

当社は、2018年５月18日付「平成30年３月期における特別損失の発生に関するお知らせ」において公表したとおり、当社の子会社であった株式会社グッドスタイルカンパニーの当社保有株式の一部を、株式会社美光（本社：静岡県掛川市、代表取締役　杉山岳）に譲渡した際の譲渡代金の分割払いの残金の回収可能性に係る評価を見直した結果、投資有価証券評価損として特別損失を計上しておりましたが、このたび、譲渡代金の一部として1,900万円の支払いがありましたので、投資有価証券売却益として特別利益に計上いたしました。

なお、2026年７月１日～2026年９月30日において、1,000万円の支払いがありましたので、投資有価証券売却益として特別利益に計上いたしました。

３．今後の見通し

上記の内容は、本日（2026年11月11日）公表の「2027年３月期 第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

以　上